

《設置趣旨》

- 自然災害に係る防災対策に関する調査研究については、理学、工学、社会科学等の各分野において、各省庁、独立行政法人、大学、民間等の様々な主体により実施。
- しかしながら、このような防災対策に関する調査研究について、どこで、誰が、どのような研究を実施しているか、集約・整理されていない。

課題

各調査研究の連携・調整が不十分

防災対策のニーズと調査研究のマッチングがなされていない

調査研究成果の防災対策への反映が不十分

何に重点を置くのか等、今後の方向性が不明確

これらの課題を解決するため、

- 情報の集約・整理・共有化
- 各調査研究における連携・調整
- 調査研究の方向性の明示

を行う仕組みを構築し、防災対策に関する調査研究を効率的、効果的、戦略的に推進していくことが必要

防災関連調査研究の戦略的推進WGの設置

※H26.7.29 防災対策実行会議において新たに設置を決定

《WGの体制》

- 常設の組織とする。
- 検討会資料及び議事要旨はHPに公開。
- 理学、工学、社会科学等の分野を専門とし、防災対策に関する知見が深い有識者等にて構成。

《検討の方向性》

○防災対策に関する調査・研究を戦略的に推進するための方法及び課題(総論)

- ・様々な機関が競い合いながら調査・研究を進めていくことも重要である一方で、他の調査・研究の状況を把握したうえで適切に連携を図り、効率的、効果的に進めていくことも重要。
- ・調査・研究の実効性を高めるため、現状において改善すべき点はあるか(内容面・運用面)

○調査・研究に関する情報の集約・整理・共有化

- ・各機関で行われている防災対策に関する調査・研究を集約及び整理。ポータルサイトを作成する等、情報共有することで各調査研究の連携、調整を促進。

○防災対策ニーズと調査研究のマッチング

- ・各機関における調査研究の実施状況と、防災対策実施機関におけるニーズの把握
- ・重要テーマの設定及び各テーマにおける今後の調査研究の方向性の明示

○フォローアップの実施